

NPO法人骨髄バンク命のアサガオにいがた
事務局長 高野由美子氏 講演会

『つながる命』



私の息子は18歳で白血病の診断を言い渡されました。息子は辛い抗がん剤治療の中、完治することを信じ、この体験を生かすべく看護師になることを目指します。ベッドの上で勉強に励み、見事看護学校の試験に合格しました。しかし、虚しくも神様への願いも叶わず息子は永眠してしまいました。それを契機に、私は息子の意思を「命をつなぐ」という形で骨髄ドナーとなりました。

抗がん剤治療の苦しさ 見守る家族の辛さ そしてドナーとしての体験談 白血病に関わる現状などを命の大切さという思いを込めて講演させていただきます。

プロフィール

新潟市で生まれ、会社員を経て加茂市へ嫁ぐ。一男二女を儲けたが、平成17年6月に急性リンパ性白血病で、骨髄移植の甲斐なく18歳の長男を亡くす。

平成20年3月、息子が最後に残した言葉、「『俺、マジダメかもしれない…』急性リンパ性白血病で逝った最愛の息子へ」の著書を太陽出版より出版。

その後、NPO法人 骨髄バンク命のアサガオにいがた副会長(現、事務局長)となり、骨髄バンク説明員の資格をとり、公益財団法人日本骨髄バンクの地区普及広報委員になる。平成21年8月骨髄バンクドナーに選ばれ、骨髄を提供する。

ドナー登録会、普及啓発、講演活動を中心に、幅広い活動を行なっている。

今、現在6人の孫に恵まれる。8人の大家族の中、日々生きることのありがたさを感じ毎日を送っている。

日 時：令和6年10月26日(土)
13:00～14:00 (明倫祭当日)

会 場：明倫短期大学講堂

参加ご希望の方は直接、会場へお越しください。(参加費：無料)

主催／明倫短期大学校友会

新潟市西区真砂3-16-10 明倫短期大学内 TEL 025-232-6351